

派遣留学報告書(12月分)

金沢工業大学 材料設計工学専攻

矢部 真樹

2003年も残すところ12月だけとなりました。今月は期末試験、友人達との別れなどがあり、凝縮された1ヶ月でした。あっという間の、秋学期でした。この秋学期(4ヶ月)を振り返りたいと思います。

### Final Exam(期末試験)

12月14日から20日まで、期末試験週間でした。期末試験週間になりいままで勉強を真剣にしていなかった学生も目の色を変えて勉強しています。図書館やCAFÉも24時間OPENとなり図書館の席の確保が難しくなるほどです。また期末試験週間中に図書館に泊り込む学生もいるほどです。なぜ、そこまで学生は必死になるのかというと、2つ理由が挙げられます。まず、一つは期末試験のテスト結果が成績に大きく反映されることです。自分の期末試験も成績の3分の1を占めています。中間試験で失敗した学生は、期末試験で挽回しようと必死です。そしてもう一つの理由としては試験範囲が非常に広いことです。試験範囲はいままで習った範囲をすべてカバーしているので、全範囲を理解しなければなりません。試験時間が1教科につき3時間という長さが試験範囲の広さを物語っています。以下に私が受けた期末試験とこの秋学期履修した授業の結果を示します。

### ESL110

期末試験はなし。その代わりに先生と1対1での発音テストと3回の中間試験で成績を評価される。成績は、期末試験後に個別にメールで送信される。最終成績はB

### ESL113

期末試験はなし。いままでの授業を通してなにが向上したのかを書くSelf-analysisの2-4ppのショートエッセイがある。最終成績はA

### Chem101

期末試験は12月20日の最終日に行われた。試験時間は3時間の選択問題。期末試験は満足いく結果だったが、第二回の中間試験の失敗が響き最終成績はC

### Chem105

期末試験はなし。成績は、いままで提出した実験レポートと宿題で評価される。最終成績はB

秋学期を振り返り、ESL (English Second of Language) は、納得いく結果におわかりました。特に **Writing** の授業である **ESL113** では充実感がありました。**Chem (chemistry)**の授業は、いままで習った範囲だったのでついていくことができたのですが、中間試験の失敗が響いたのが悔やまれます。総括としてはこの秋学期は勉強したという充実感を味わいました。また自分がこの派遣留学で達成したい目標の一つである「アメリカの研究における安全管理」を **Chem105** の授業で達成できたと思います。来学期は、この派遣留学のもう一つの目標であるバイオ工学の授業をとる予定です。春学期はこの秋学期よりはるかに忙しくなることが予想されます。挑戦の春学期になりますが頑張って更なる充実感を味わいたいと思います。

### 友人との別れ

期末試験が終わり多くの友人との別れがありました。**IEI** で知り合った友達、今学期で卒業した **Roommate** の **Faisal** との別れがありました。別れはとても辛いものです。知り合った時のことがつい最近だったのに、時の流れは速いものです。彼らとは、これからもかけがえの無い友人であり国境を隔てても友人関係は続けていくでしょう。この派遣留学で彼らに会えたことは、自分の人生において勉強よりも大きな収穫でありました。彼らに会えたことを感謝したいと思います。

以上